



ふじいよしあき 藤井義明議員



### 西日本豪雨災害対応検証報告書 金浦小学校 校舎床上浸水！

議員 金浦中学校は平成30年7月西日本豪雨で浸水した区域内にあり、建物については浸水を免れたとの説明があったが、間違いないか。

教育部長 校舎についてはかさ上げをしているため、校舎自体が浸かるということは無かった。

議員 新校舎を建てるのも、現校舎と同じ高さにするので大丈夫だと説明をされている。教育長、間違いないか。

教育長 間違いない。

議員 平成30年7月西日本豪雨災害時の生徒の保護者から、議会事務局宛てに、「災害翌日の中学校を含め、その周辺の水没した状態

を実際見られましたか。教室のままで水に浸かり、普段子供たちが大切に使用している用具、頑張った作品、水にプカプカと・・・という問い合わせがあった。話が食い違っているか、嘘をついていることになるか、どのように考えるのか尋ねる。

教育部長 初耳である。金浦小学校のエリアのことと一緒にあっていのではないかとという気もする。

議員 平成30年7月豪雨災害対応検証報告書では金浦中学校の被害状況はどうなっているのか尋ねる。

危機管理部長 校舎のほうが床上浸水したと報告している。

子ども達の学びの権利、学びの多様性を保障する学校教育について問う

議員 ①トモニ療育センターによる研修会開催の進捗状況は。②個別の教育支援計画のコピーを保護者に渡すことを義務化できるか。③インクルーシブ教育に必要なことは何か。



まなべ ようこ 真鍋陽子議員

貴重な一票を大切にするための環境整備、主権者教育について問う

議員 ①無効票について主権者教育を行うことはできるか。②投票所にコミュニケーションボードの設置はできるか。③投票所来場カード配布について事前周知はできるか。④学校教育や新人職員研修で議会傍聴を行うことは可能か。

選挙管理委員長 ①HPや広報紙を活用し周知していきたい。②先進事例も参考にしながら導入を検討する。③令和5年4月10日投票岡山県議選が初めての試みであったため積極的な周知はできなかつたが、今後は広報紙を活用して配布の事前周知に努めていく。

教育長 ④可能ではないか。

総務部長 ④研修計画に盛り込んでいきたい。



ほらだ 原田てつよ議員



### 笠岡市・里庄町自立支援協議会の活動等の経費はどのようになる？

議員 障害者総合支援法の改正が令和6年から施行され、概要の一つに自立支援協議会の機能強化とある。以下尋ねる。①位置付けについて②目的について③本年度総会に参加しての感想

市長 ①障害者総合支援法第89条第3の規定に基づき、障害者の生活を支えるために関係者が集まり、地域の基盤整備を進める組織と位置付けられている。②障害者の生活を支えるための仕組みづくりを協議し、施策に反映させ、共生社会を作っていくことである。

健康福祉部長 ③就労部会は、事業所を訪問し、事業内容は動画で編集されており、事業所を知る上でも、事業所自らのPRにも有効であると感じた。地域生活部会は、

長年整備が進まず懸案事項であった地域生活拠点等の整備について進展がある。相談支援部会は、困難事例を通じて相談員の支援力の向上や、地域課題の抽出を行っており、各部会の特色が出てきていると感じた。さらに活発な活動ができるよう、予算も含め里庄町と連携し、環境整備をしていく。

議員 動画の評価も良く、もっと増やしてほしい。研修の希望もある中で、活動経費について尋ねる。

健康福祉部長 予算措置について努力する。

その他「市委託の身体・知的障害者相談員」「NPO法人スポーツ巡回ネットワークへの協力」等について質問しました。



もりおか さとこ 森岡聡子議員



### 戦没者追悼式について問う

議員 戦没者遺族の高齢化が進み、参列者が減少している中、次世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さをどのような形で残していくのか。

市長 次代を担う市内小・中学生及び高校生に、様々な方面から協力、参加していただき、追悼式を続けていく。

議員 慰霊の場の維持管理について、担い手不足という問題がある。本市の対応について尋ねる。

健康福祉部長 慰霊碑は市内に13基ある。倒壊の恐れがある場合は、古城山への移設も考えている。

建設部長 古城山の整備については今後、修繕や改修を行いたいと考えている。

### 県立高校再編について問う

議員 笠岡工業高等学校が統廃合や募集停止の対象となっているが、本市としてどのように対応していくのか。

教育長 笠岡工業高等学校の学習内容に関心を持っていただき、選択肢として受け止められるようにしたい。笠岡工業高等学校は全県学区であるため、オープンスクールや学校説明会のチラシを市内中学校のみでなく、道の駅や港、公民館に置いたり、ポスターを掲示したりして広報している。また、市と学校との意見交換会を継続実施している。今後も笠岡工業高等学校の存続について、県に要望を行っていく。

その他「コロナ5類移行」等について質問しました。